

製品の快適性における性差・年齢差の評価法

日時
2019年 3月25日 (月)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

講師 信州大学 繊維学部 特任教授 西松 豊典氏
ファイバーイノベーション・インキュベーター施設
リサーチコーディネータ 工学博士

受講料

1名 44,000円 + 税
2名以上1名 40,000円 + 税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- 参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- 受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- 開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- 受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講座概要・POINT

最近、快適性 (心地) がさまざまな製品の魅力に大きな影響を与えています。特に、各製品のコンセプトに合った快適性 (心地) を実現することが強く望まれています。特に、心地には性別や年齢が影響するといわれています。

今回のセミナーは、触知覚に基づいて評価されている製品の快適性 (心地) をどのような検査手法を用いて実験・評価・解析を行ったらよいか、演習を行いながら進めます。また、多くの実験データに基づいて性別や年齢が異なる被験者について研究開発を行った感性製品の事例 (自動車シートの座り心地、玄関ドアの開け心地) を紹介します。具体的に理解していただくために、いくつかの項目で演習を実施します。

Study and Learning

- 人間の視覚と触知覚機能について
- 人間快適工学について (快適性「心地」を数値化するには)
- 快適性「心地」を数値化する官能検査とは
 - 快適性「心地」を数値化する官能検査方法の種類とは
 - 官能検査を行う前の準備 (被験者 (数)、試技、形容語) について
 - 被験者の判定能力を検定するには (演習)
 - 一対比較法による官能検査とその数値化方法について (演習)
 - SD法による官能検査とその数値化方法について (演習)
- 製品の「心地 (硬軟感、粗滑感、乾湿感、温冷感)」に関連する物理特性を測定し評価するには (測定風景を映像で見ます)
- 快適性商品の開発の応用例
 - 男・女性間における自動車シートの「手触り感」と「座り心地」の差
 - 自動車シート表皮布の「手触り感」に及ぶ年齢差
 - 玄関ドアの「開け心地」に及ぶ年齢差

Solution and Consulting / 質疑応答

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 製品の快適性における性差・年齢差の評価法

セミナーコード

1101-190325

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2019/3/25 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				